（大正十四年十一月十八日第三種郵便物認可）

磐城之實業

毎月（二回）十日廿五日發行

定價
一部金八錢郵税共
一年分九十六錢
半年分四十六錢
廣告料一行五十錢
但指定場所增十錢

發行所　磐城之實業社
電話五二三番

印刷人　大和田與平
編輯兼發行人

本紙の信條

土義……本紙は本社の私有にあらず社會共有の公的言論機關たり常に紙面を開放して何人の爲めにも

其利用を快諾し特に主として實業界の機關となり努めて寶益を主眼とす

本紙は絶對不可侵の權威を以て論議公正にして愚劣無價値の記事を採らず磐城地方唯一の

實業機關たるの本領を發揮す之本紙の使命也

若松美三と野崎滿藏

◇兩者縣議の野心家で　◇兎角面白い對照なり

今を時めく憲政會に其の石城郡の重鎮として若松美三と野崎滿藏との人物評論をなすに於て容貌と性格乃至は動作に至るまで彼等兩者が全く正反對にして殆んど相容れざるが如き氣分の頗る歷然として筆者の眼前に髣髴たるを禁ぜざるものである

（1）、野性の横溢せるとせざる點に就て

（2）、政治的信用の少きと同情ある點に就て

（3）、職業上全々正反對なる點に就て

恰も東馳西奔、方圓表裏内外分合等全然相反せざらんと欲すも能はざるなり正に野崎を四條橋畔に於ける辨慶とすれば若松は牛若とでも稱し得べく

野崎の態度には四十年增が厚化粧のアクドサがあり若松の莞爾たる容貌と瀟洒たる動作は洗髮の生娘の清新味がある

而して野崎は土方の親分如く若松は圓滿平和のお巡頭の觀がある、若し夫れ野崎の態度に法衣を以て鎧を包み非違を遂げんとするか如き清盛の横暴なる氣分が濃厚でありとするならばそれと同時に若松には非い『飽くまでも非とし止は飽くまでも正として誅止せんとする』が如き重盛の謹直なる氣分があるは有れども其の勇氣なきを如何せんやである、但し性格其所に雪と炭との相違ありと云はざるべからず

此の性格が躍動して今や反目疾視

此の兩者は來らんとする九月の縣議戰に憲政の畑から轡をならべて馬を陣頭に進めると揚言して居る片や野崎は比較的運の強い男で町議から所得税調査委員と昔は金貸し現在は藝妓屋の主人として今日の地盤を築き上げたるもの正に男一疋の價値ありと彼に讃辭を述べざるべからずである、然しながら、彼には才も智も膽力も勇氣もあるが如くにして無きも捨身の躍動は確にこの欠陥を補つて余りがある其の上に借金までしても政黨の爲めなら散財するとふ離れ業を演ずるお蔭で貴虎會といふ團体までも出來つた程で此邊若松が一憚り乍ら利權の爲めや金の爲めに政治に一身を捧げなそれと同時に若松には非い『飽くまでも非とし止は飽くまでも正として誅止せんとする』が如き重盛の謹直なる氣分があるは有れども其の勇氣なきを如何せんやである、但し性格其所に雪と炭との相違ありと云はざるべからず

九月の縣議戰に憲政の畑から轡をならべて馬を陣頭に進めると揚言して居る片や野崎は比較的運の強い男で町議から所得税調査委員と昔は金貸し現在は藝妓屋の主人として今日の地盤を築き上げたるもの正に男一疋の價値ありと彼に讃辭を述べざるべからずである、然しながら、彼には才も智も膽力も勇氣もあるが如くにして無きも捨身の躍動は確にこの欠陥を補つて余りがある其の上に借金までしても政黨の爲めなら散財するとふ離れ業を演ずるお蔭で貴虎會といふ團体までも出來つた程で此邊若松が一憚り乍ら利權の爲めや金の爲めに政治に一身を捧げなそれと同時に若松には非い『飽くまでも非とし止は飽くまでも正として誅止せんとする』が如き重盛の謹直なる氣分があるは有れども其の勇氣なきを如何せんやである、但し性格其所に雪と炭との相違ありと云はざるべからず

呼縣議たらんとしてヤシンマンゾウたる彼は其の準備行爲に勢々厥かず及々辭せずの努力猛進には蓋し腥風凄雨たる觀がなくてはならぬであらう

此處に至つて若松は垂拱姿靡して振はざること遠く能く健全强壯なるを得ずして勇壯活潑に今だ一回だに村會議員たる以外選良たるの名乘りを上げしことなく選擧場裡の風浪と抗爭出來得ざるは彈丸と稱す滋卷物の常時欠貧し居る病弱者として又一面同情せざるべからざる男で毎期候補の名譽を掠奪されるなど惠まれざるの甚敗きものである然り而して彼には自已宣傳の智器に醉眼朦朧たるものがあつて『酒の肴に裏の畑で蛤をほつてくるから待つて居れ』位の闘太い藝當を云ふの勇氣がないから見縊られて如才なき彼にして躍如たる仕事も出來ずに甘味料理屋の酒に美人を擁することも叶はぬ境涯とは情けない

青眼白眼

平松ケ岡公園に愚像を建設せんと奔走した馬鹿者があつたが時代の空氣には勝てぬものと觀念したものにや沙汰やみとなつてしまつたらしい、斯くあるべきが當然であるに町會議員中に是れを非常に殘念がつてる常識色盲者もあるとは聞くだに情けない◆祐賢學校大和田校長の勉强振りには感服すると云ふ事である、何でも今日までに購入した書籍代ばかりでも二萬圓以上であらうとの噂其の冊數に至つては恐らくは一萬近いだらうとの話、但し本人自身でも判明しないそうだ。

親疏を量る喧嘩の一卷

此の間のこと平南町の憲政倶樂部に同派の策士と呼ばれる鈴木盛之助が若松を訪ねて一杯飲んでは上戸黨の若松たるもの盛んにメートルを上げ初めた處へ盛が油を遺憾なく注入したからたまらない大人物の野ザ滿サンをあまりに推稱し談笑放吟したのが巧妙なる嘲笑となり聞き樣に依つては一種の攻擊となつたので是れを注進した者があつて野崎の憤慨となり臨時幹部會までも開いての黑白爭へに其の發言者が鈴盛と推定して此のケリを付けたを聞いた彼れは事誇大化され誤傳されあるに何ぞ斯くして默すべき怨憤忽ちにして胸中に溢れ滿腔の怒氣禁ずる能はずして若松に辨じ野崎に迫つて事實の眞想なるものは兩者表面諒解したものゝ惡感情は胸間に充塞して居るものゝ如しとは九月縣議戰に片や若松は當然俺の順番だと一人定めして居る處へ片や野崎が運動金の無い袖を振つたとて誰れが軍資金を製造するものがあるか……勿論俺樣より他に此の資格を有する者があるまいとお互へが腹の底での反目疾視が先は喧嘩の一卷とご座い。

本邦最大最良の相互保險

千代田生命保險相互會社

株主なき會社

生命保險の必要

保險料金額二百圓までは所得税法に依り免税の特典があります

今日節約して明日に備へませう

それには貯金を兼ねた生命保險をつけるに限ります

將來に對する不安が除かれたとき初めて平和と力とが得られます

保險に加入するには基礎の確實な契約者本位の會社を選ぶ事が肝要です

◎我社の現況

現在契約　四億五千萬圓
資産（昨年末）　七千萬圓
新契約（昨年末）　一億五百萬圓

◎我社の特色

一、契約者本位の相互組織
一、契約者共有の保險會社
一、堅實の經營
一、保險金の支拂迅速
一、最高率の契約者配當
一、寛大の配當金

我社は相互組織ですから一人の株主もありません。從つて會社の利益は契約者に分配してあります。

◎正味保險料が最も安い

創業以來我社は急がず休まず發展して來ました。前記の數字は正直に我社の現況を語るものであります。

◎契約者配當金

一昨年は四百十七萬餘圓の剩餘金を得ました。其結果前年即ち大正十五年は左の通り配當しました。目下昨年度決算中ですが本年度も引續き好配當を爲し得る自信があります。

甲種養老
乙種養老

保險金壹千圓に付き滿期配當金四百四十七圓

契約の三年目から年掛保險料の四分五厘を累加配當してあります。即ち大正十三年に御契約の方には四分五厘十二年の方には九分十一年の方には一割三分五厘となり此保險を始めた明治四十三年に契約された方には、今や年掛保險料の六割七分五厘を配當する事となりました。保險料百圓に付き配當金及び差引拂込金は左の通りであります。

乙種養老保險配當金差引計算表

契約の年	年掛保險料一〇〇圓に付き	差引拂込金	配當金
大正五年	一〇〇、〇〇〇圓	一〇〇、〇〇〇圓	一、
大正四年	一〇〇、〇〇〇	九五、〇〇〇	四、五〇〇
大正三年	一〇〇、〇〇〇	九一、〇〇〇	九、〇〇〇
大正十二年	一〇〇、〇〇〇	八六、五〇〇	一三、五〇〇
大正十一年	一〇〇、〇〇〇	八二、五〇〇	一八、〇〇〇
大正十年	一〇〇、〇〇〇	七八、〇〇〇	二二、〇〇〇
大正九年	一〇〇、〇〇〇	七三、五〇〇	二七、五〇〇
大正八年	一〇〇、〇〇〇	六九、〇〇〇	三二、〇〇〇
大正七年	一〇〇、〇〇〇	六四、五〇〇	三六、五〇〇
大正六年	一〇〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇
大正五年	一〇〇、〇〇〇	五五、五〇〇	四四、五〇〇
大正四年	一〇〇、〇〇〇	五一、〇〇〇	四八、〇〇〇
大正三年	一〇〇、〇〇〇	四六、五〇〇	五三、五〇〇
大正二年	一〇〇、〇〇〇	四二、〇〇〇	五七、〇〇〇
大正元年	一〇〇、〇〇〇	三七、五〇〇	六二、五〇〇
明治四十四年	一〇〇、〇〇〇	三三、〇〇〇	六七、〇〇〇
明治四十三年	一〇〇、〇〇〇	二八、五〇〇	七二、五〇〇

拂込金の年々遞減する最低廉の保險料

◎契約の三年目から四分五厘の累加配當あるは獨り我社だけであります。

本社　東京市京橋區南傳馬町二丁目
仙臺支部　仙臺市大町二丁目一四八
福島縣平町材木町四一
平代理店　草野順平

勸銀と合併せざる 農銀の成績如何

福島縣農工銀行頭取白井博之氏談

不動産金融を農工銀行にのみまかして置いては不充分であるとして政府は勧業銀行と農銀を合併せしめて以て不動産金融の完備を計らうとして大正十年二月時の政府は勧農合併法律案を議會に提出し學者實業家等によつて賛否兩論が鬥はされたが要するに合併することを得といふ任意合併法律案であるから合併したいものは合併すべし合併したくないものは合併すべからずといふのて遂に該法律案は議會を通過して法律となり、全國四十六の農銀中十九行だけ合併し東北地方に於ても青森、山形、秋田の三農銀が合併して勧銀の支店となつた而して勧農合併の跡を見るに資力充分ならざるものが合併して殘存してゐるものは獨立して經營が出來るやうになつてゐるやうである又勧銀に合併された方が不動産金融としての使命を完了し得るや否や數字を以て之を示さんか即ち十九の農銀を合併した勧銀の大正十五年上半期中の新規貸付總額は一千五十一萬圓に過ぎぬが殘存二十七農銀同期の貸付高は二千六百五十九萬圓に達し勧銀の二倍半になつてゐる又募債の狀況を見るに十九農銀を合併した勧銀の十五年上半期の債券募集高は三千百四十四萬圓であるがこのうち勧業債券七百五十萬圓、復興貯蓄債券八百萬圓殘餘の一千五百九十四萬圓は特殊發行債券と八百萬圓の復興貯蓄債券合計一千五百五十萬圓に過ぎぬけれども農工銀行の募債は二千七百五十一萬圓外に特殊債券七十一萬五千圓になつてゐて勧銀の募債より多額になつてゐてこれだけ殘存農工銀行が不動産金融の上に貢献してゐる事を物語るものである次に大正十二年より大正十四年に至る六期間の東北六縣に於ける勧銀に合併されたる山形、青森、秋田の三勧銀支店と殘存三農銀との貸出しをしめせば農銀の方が遙に多い

（單位千圓）

	勧銀に合併した三支店	殘存農銀
山形	七三〇	福島 九九四
秋田	六三四	岩手 七一〇
青森	六三四	官城 九四四

更に一期平均の貸出し高を見せば左の如く殘存農銀の方が遙に多い

山形支店	三〇福島農工	一五九
秋田支店	一〇九岩手農銀	二八四
青森支店	一〇〇宮城農銀	一五四

次に農銀における一口當りの貸出し高と勧銀支店における貸付高を見ると勧銀に合併されてからはその金額が著るしく増額して中小農工業者に對する融通されぬものゝように思はれる之を山形、秋田、宮城三縣の合併前と合併後の一口當り貸出し高をしめせば合併後は殆ど二倍になつてゐる

	合併前	合併後
山形	四四	三、四五
農銀	山形勧銀支店 七、九六	秋田勧銀支店 五、五三
秋田	三、三九	青森勧銀支店 二、〇五
青森	二、〇五	銀支店 二、四九
農銀	宮城農工 二、八〇	岩手農工 一、一四三
	福島 一、四二	

右の如き相違がある更に殘存農銀に於ける大正十五年上半期に於ける一口平均の貸付高を示せば一千圓乃至二千圓になつてゐる左表の如し（單位圓）

秋田勧銀支店	五、五三
青森勧銀支店	二、四九
福島農工	一、〇四二

右は斷じて勧業銀行に合併せず獨立して經營して行く農銀は勿論今後大に發展し縣下の中小農工業者の金融機關として眞使命を完了し得る確信がある而して本年下半期に至らば未拂込株金を徴收せんと計畫してゐる未拂込株金全部徴收の上は又株主各位と協議し如何やうにも發展策を講じやうと思ふ茲に勧銀と合併せぬことを一言し農銀は將來獨立自營の者並に地方に及ぼす影響の甚大なるものを遺憾とし之の調停をなすべく蹶起し幹部は度々會合して善處する面目玉を潰されたるより極度の憤激する處となり十三條の項目を並べて會社に迫つたが結局勞資協調の常套語で共存共榮平和の理想から善意解釋とやらを喰はされて今後は深甚の考慮に付き善處するまいかと專らの取沙汰あり。

鷄卵增産の計畫國立種禽場 本縣へ設置 最も可能性

石城分場が候補地か？

農林省では目下鷄卵增産實施の計畫を進めて居るが本計畫は地方樞要の地に種鷄場を設置すると共に養鷄に關する諸般の地方施設を奬勵助長して內地鷄卵增産を期し今後十箇年で本邦鷄卵需要見込數量の充足を圖らうとするもので尙その基礎を安固ならしめるためその後引續き四箇年間本事業を繼續し鷄卵增産の實績を收めやうとするものである

一、種鷄場において左記事業を行ふ

（イ）種鷄の輸入はん殖（年平均一千羽）海外より優良なる種鷄を輸入しこれを種鷄場において飼養はん殖する

（ロ）種雛種卵の配付種鷄場において生産の種鷄は主として道府縣に種卵は主としてその他の團體に有償に配付する

（ハ）產卵能力檢定民間で生產の種鷄を毎年種鷄場において飼養し產卵能力檢定を行ひ優良種鷄は種鷄場の原種鷄に編入する

（ニ）指導奬勵地方養鷄事業の實地指導を行ふ

（ホ）技術の傳習種鷄場において養鷄技術員及び見習生を養成する

二、指導奬勵及び監督

一、地方養鷄事業の指導奬勵及び監督をなす

二、道府縣の養鷄に關する設備及び技術員に關する經費に對し奬勵金を交付する

三、その他の關係が孵化、育鷄能力檢定等の事業を行ふ爲め技術員を設置した場合その技術員給に對し奬勵金を交付する

四、養鷄に關する團體の左記事業に對し助成金を交付する

孵化、育鷄能力檢定、雛飼料、倉庫等設備その他養鷄に關する諸施設

五、養鷄に關する知識の普及向上を圖る爲に關する印刷物を配付する

六、養鷄に關する經濟思想を養成する爲講習講話會を開催する

三、經費

十ヶ年間所要見込總額（初年度經費三、〇三四）

以降四ヶ年間所要見込總額（一、〇六四、八三四）

右の計畫案に對し本縣に設立されることは縣內農村の副業として養鷄事業が東北北陸十縣中第一位に在るので充分の可能性があると縣當局でも期待してゐる最近における養鷄事業の調査統計に見ると縣內飼養戶數は十萬八百二十一戶にして飼養羽數八十七萬六千九百十七羽產卵概數三千二百六十七箇といふ多數の增加を見て居るその他八縣の現況は到底本縣及新潟縣に比すべくもない少數であるから本縣には一番有望視せられてゐる譯である然して石城分場が第一候補地ならんと云ふ。

福信會社營業 停止を喰ふ 石城地方へ手を擴げ 昨今の雲行きや怪し

福島市濱町に本店を置き特に石城地方に高率の貸金をなして盛んに活躍し隨分なる手段を弄しつつありし福信株式會社は此程業務が銀行條令第一條及び貯蓄銀行法の第一條第四項に抵觸するの廉を以て營業を停止されたるより隨つて融通の巨額ある石城方面の債務者は今後に於ける返還掛金等に就いても圓滿なる終局を告げざるべき模樣ありて何となく怪しげなる雲行きあり而して抵觸條文は左如し

銀行條例第一條

公に開きたる店舗に於て營業として證券の割引を爲し又は爲替事業を爲し又は諸預り及貸付を併せ爲す者は何等の名稱を用ゐるに拘らず總て銀行とす

貯蓄銀行法第一條第四項

期限を定めて一定金額の給付を爲すことを約し定期に又は一定の期間內に數回に金錢を受入るる事

基礎確實契約者本位の 千代田生命保險と草野氏

縣參事會員にして磐城銀行支配人たり信用最も厚き草野順平氏代理店取扱ひのみにて石城郡內に既に百余萬の契約高に今回百萬を新たに加へて二百萬以上の好成績を示さんとする千代田生命保險相互會社は保險界に於ける本邦最大最良の相互組織で一人の株主もなく從つて會社の利益は擧げて契約者に分配し

甲種養老保險金一千圓

乙種養老契約の三年目から年掛け保險料の四分五厘を累加配當してゐる即ち大正十三年の契約者には四分五厘十二年同上には九分十一年同上一割三分五厘となり該保險を開始した明治四十三年の契約者には今や年掛け保險料の六割七分五厘即ち保險料百圓に付六十七圓五十錢を配當し差引拂込金は僅か三十二圓五十錢に過ぎぬ

表面化さざりしも 善處活動したる俠政會

這般の磐炭爭議に俠政會は勞資協調の見地より鬪爭の兩者並に地方に及ぼす影響の甚大なるものを遺憾とし之の調停をなすべく蹶起し幹部は度々會合して善處する面化さざるも同會の努力は見逃すことの出來ぬ事である。

磐炭爭議の副產物 面目玉を潰された磐炭會と會社の今後は如何

時代遲れの幹部で何を成す

磐城炭礦爭議にご用を勤めた磐炭會は會社が爭議團に對する最後の解決に何等の交渉諒解もなく物の見事に面目玉を潰されたるより極度の憤激する處となり十三條の項目を並べて會社に迫つたが結局勞資協調の常套語で共存共榮平和の理想から善意解釋とやらを喰はされて今後は深甚の考慮に付き善處するまいかと專らの取沙汰あり。

噂の聞書き

磐炭鬪爭事件で在平新聞社及支局での報導筆法が兩派に別れたものであつた先づ爭議團に寧ろ加勢したとまで噂されたのは河北でおつた、其のサークルは民友に朝日が大々的らしかつた是れに反したのが磐新を中心として活動中である。

▼佐藤善次郎氏　平土橋家庭上の悅び等を得る象

▼九紫火星の人　月初めは吉運に見えますが實際は衰運に入る月で諸事順調の運びを示して來るものですが月半頃迄は未だ充分衰運を脫しない傾きがあるから急進妄動

▼八白土星の人　吉運に入る月で諸事順調の運びを示して來るものですが月半過迄は未だ充分衰運を脫しない傾きがあるから急進妄動

▼七赤金星の人　衰運の月です此方針を守れば月半過で諸事意に任せず從つて焦燥がちになる象があるが勞して功の衆らぬ月ですから萬事控目を守ることが大切

▼土星の人　吉運に入り逆氣轉換吉運の兆が現れて來るものです尙身上の變動縺れ事不時の災難病難等に注意を要します。

▼九紫火星の人　月初めは吉運に見えますが實際は衰運に入る月で物事に故障波瀾を生じ易い象があるから萬事現狀を守り愼重に進む

▼佐藤善次郎氏　平土橋家庭上の悅び等を得る象

▼酒井清氏　の至孝

隆昌心配事の解決願望成就

▼●●●●より稼業柄○寄々相談中との事なれば必ず遠からず一と問題が惹起さることなるべし。

▼●●●●

酒井清氏の至孝

平町停車場前住吉屋支店の主人公たる酒井清氏の至孝に佛陀の慈光に浴して繁榮すること海岸線随一と稱さる一家福德海裡春風に笑ふの觀あるも一めん又涙しくも先考にたいして命福供養を忘らず法門の妙果は今同左の如くふしたるとは感服すべきにこそ寫眞は故勇次郎氏の肖像。

父上在世中は一方ならぬ御好誼にあづかりました、父上供養をなさんとして先考の像を中庭に安置し其の除幕式を先帝神去りたまひたる諒闇の時、仰いで天に哭するも天應へず、俯して地に泣けども地は默然として我々國民は只端座合掌する場合、ここに除幕式を廢し觀音經二千部を印刷し親戚知人諸君に頒呈する事に致しました、何卒御佛の御徳を讃誦なし内は佛の供養となり一は其の人格を形成する一助ともならば施主の歡びにたへざる所であります。

施主　酒井清

定評ある病院經營者
人妻と通じ或は看護婦を姦す
彼が人格に疑團容易に解けざるも道理

創業當初より兎角問題と紛擾とを醸生しつゝある平町特別製の目玉は花柳界切つての評判に此の眼がサーチライトの代用をなして頗るお座敷なるとは調法がられるとの噂に惚れ込み時折り來亭邊で嬉しい首尾の睦語を聞きつ聞かせつ居つた白銀町金增株屋の若い丹突ご商賣柄お札は何時も懷中に山を成してる風はして居るものゝ昨今の不景氣に賣ノたのお客もなく證據金の臨時運用も出來兼ねるが何となく福ちやんは安値買付の放資株樣に見いてたまらず金融緩和をはかるため質物清算取引を店でやるべく遂に數日前の夜自ら電話で福平を呼出しての交渉に其れは顧客本位の福ちゃん姐さんだから早速往來と松月から大枚圓助を振發して御出動に及んだが相手方をあまりに信用しないと見いてお約束のご當人は生憎お出ましの不在なので福平の憤慨一方ならず約束第一を何よりの生命として居る株屋でありながら隨分人を馬鹿にしてゐるわと切角の氣が氣かなさに此の事植さんの耳にも這入つて大恐慌を馬鹿にしてゐるわと切角の氣が氣かなさに此の事植さんの耳にも這入つて大恐慌

福平の奮發
金株株屋色男の一卷を映寫

牛新田町は甲子の福平、如さんと云へばあの出目金かと云ふ始末なるより稼業柄く寄々相談中との事なれば必ず遠からず一と問題が惹起さることなるべし。

世の中

◇

國有鐵道は現在二十六億圓の巨資を擁し、總延長八千哩に近き營業哩に約二十萬人の鐵道從業員と七萬五千輛の客貨車が活動して年收約五億圓の營業收入を擧げて居るが此の營業成績は果して堅實であるか否か換言すれば鐵道の發達即ち鐵道に投せらるゝ營業費の增加資本の增加に伴つて營業收入は相當の增加率を示して居るや否や將又物價勞銀の騰貴率に比して營業費と營業收入の係數は適當の成績を示しつゝあるや等を統計的實績に據つて明かにすれば大樣左の如くである先づ鐵道收益測定の收支を大別すれば大正十四年度中の營業收入は四億八千萬圓であるが、營業費は約二億六千萬圓、利益金は二億二千萬圓で十四年度中の鐵道總資本金二十五億圓に對比すれば約八分八厘の利益を擧げて居ることになる以上が最近に於ける鐵道の營業成績の輪廓である。

◇

農村を見棄てゝ都市に集中した出稼人が昨年度に於て七十八萬五千人この驚くべき數字の約六割は男子四割婦人の割合であつて前年から見ると男女共約六萬人宛の激增である、とう内輪に見積つても米一石當り生產費四十圓近くかかるに現在の米價では數圓の不足を生ずると云ふ有樣では幾らロを酸つぱくして農村生活讃美をやつた處で駄目である、この儘に放任すれば農村の滅亡はもはや白日の夢でなからう。

◇

我國銀行の資產總額は何程かと大藏省に尋ねると昨年末現在で全國銀行本店數が一千七百四店支店數が七千八百七十一店此の資產總額は二百五十三億一千七百萬圓に達する米が足りない〳〵と云ふのに耕地がズン〳〵減つて行く大正十一年度まではどうやら年々增加したが十二年度から減つて行く一方である、昨年は一萬六千町歩の耕地が潰廢に歸し其大部分は小作問題の面倒臭くない山林原野或は荒地と變つた中にも荒地が五割七分を占めてゐるとは愛華原瑞穗の國の名前が泣かうではないか。

◇

地主運が共同戰線を張つて小作人の大乘運動に對抗しようとする地主會社は大正十一年末には全國を通じて四社を數ふるのみであつたのが昨年末には十九社に增加するに至つた即ち岡山七愛知三香川三奈良二山梨、京都、福井、兵庫各一である。

◇

平と郡山とはよく比較の活題に上るもので郡山が町制から市制を布へての大の發展振りを見せ付けたに平町は市制などまた〳〵夢にも見られない、先づこれを本年度の歲入出總豫算に見ても郡山は總額六十六萬五千余圓で前年度から三萬五千八百圓程を增加したに對し平は二十八萬四千八百圓に前年より一萬六千余圓の緊縮減少を示して居るのは積極的とを消極とよく物語つてゐる。

腐爛の戀
淺ましき女將に抱子等が反省運動

本紙前號に筆誅した平色町の料理屋に於ける某藝妓屋の亭主あるる女將が腐爛の戀に世間も憚からざる荒淫振りは蛙面に水を澆ぐが如くにして其の色男に入れ上ぐる爲めに抱子等に對し飽迄無殘なる仕打ちに食物さい客がろと云ふ始末なるより稼業柄く寄々相談中との事なれば必ず遠からず一と問題が惹起さることなるべし。

縣内で貧乏風が吹き荒む
地方は何處が第一番か

縣内各區裁判所に於ける昨年一ヶ年の民事々件の假差押へや强制執行された競賣事件は財界の不況に伴つて頗る多く前年に比して二割の激增を示してゐる管内では最も多いのは平區裁判所で四百十一件次は白河區で三百七十五件、福島區の三百七十四件、郡山は二百九十四件の順で一番少いのは相馬で假差押へが四十八件、競賣廿九件である、更に督促に至つてはこれ亦前年に比して三割も多く一番多いのは若松で三千五百件といふ激增で仙臺控訴院管内でも第三位を下らぬ程多かつたので所員は勿論執達吏役場も轉手古舞の忙しさで福島や白河より千件以上も多い狀態であつた若松の次は白河の二千五百件次は福島の二千四百件、平郡山は二千件内外といふ多忙さを極め全管内を合計すれば假差押へが四十八件、競賣は一千八百三十三件の多數にのぼつてゐる而して一番多い平區裁判所管内で小名濱を中心にあつて殆んど毎日委を見せると云ふ大繁昌振りとは感心した事柄ではない。

消息欄

▼小川善助氏　小田炭礦の重役たる氏は今回住宅移轉を左の如くなしたり東京市本郷區駒込明神町三〇八番地（舊木戸邸分讓地）市電車上富士前下車、省線駒込驛下車約二丁、電話小石川一〇五二番

▼田久鉾七氏　曾つて郡議中殖林政策を郡當局に數へ自ら殖林王を以て任じ居りし赤井村の快男兒たる氏は酒杯に離別して專念殖林事業に猛進すべく目下大なる計畫に向つて活動中である。

▼佐藤善次郎氏　平土橋の氏は頗る痛快な男で無駄遣慮の彼が人物評論は天下一品とは云はざるも慥かに耳を借すに價値は充分ある識見の卓越なるラムや納豆製造に算露盤を彈かせ蹈は惜い氣がする

▼川瀬幸治氏　赤井村川瀬炭礦王の氏は實に目醒める程の活動振りをなし、自己特得の才能を發揮し義務は飽迄履行し然も郡衆中に愛立するの膽力は見上げたものである。

▼運沼龍輔氏　磐城新聞の副社長たる氏は社交に長じ經營に手腕を見せつゝ各方面から可愛がられて居る幸運兒だが空閨の淋しさに近く華燭の典を擧げるとのこと但し新田町邊で落膽して氣を遠くするお方はご座ぬかしら

三三九星運氣考
（昭和二年三月の運勢）

▽一白水星の人　月半前頃より漸次吉運に向ひ月末に成る程歷運を得て諸事順調に運び業務上一身上の發展に見て諸事順調に運び業務上一身上の發展に見ると驛内個發戶數は

▽七赤金星の人　衰運の月です此方針を守れば月半過で諸事意に任せず從つて焦燥がちになる象があるが勞して功の擧らぬ月ですから萬事控目を守ることが大切等に注意を要します。

▽八白土星の人　吉運に入る月で諸事順調の運びを示して來るものですが月半頃迄は未だ充分衰運を脫しない傾きがあるから急進妄動から注意を要す。

▽九紫火星の人　月初めは吉運に見えますが實際は衰運に入る月で物事に故障波瀾を生じ易い象があるから萬事現狀を守り慎重に進む

▽一白水星の人　月半前頃より兎角問題と紛擾とを醸生しつゝある平町特別製の目玉は花柳界切つての評判に此の眼がサーチライトの代用をなして頗るお座敷なるとは調法がられるとの噂に惚れ込み時折り來亭邊で嬉しい首尾の睦語を聞きつ聞かせつ居つた白銀町金增株屋の若い丹突ご商賣柄お札は何時も懷中に山を成してる風はして居るものゝ昨今の不景氣に賣づた菓子は其儘持歸りの氣が氣かなさに此の事植さんの耳にも這入つて大恐慌

▽二黑土星の人　月半前頃より兎角問題と紛擾とを醸生しつゝある平町特別製の目玉は花柳界切つての評判に此の眼がサーチライトの代用をなして頗るお座敷なるとは調法がられるとの噂に惚れ込み時折り來亭邊で嬉しい首尾の睦語を聞きつ聞かせつ居つた白銀町金增株屋の若い丹突ご商賣柄お札は何時も懷中に山を成してる風はして居るものゝ昨今の不景氣に賣づた菓子は其儘持歸りの氣が氣かなさに此の事植さんの耳にも這入つて大恐慌

▽三碧木星の人　衰運の月で物事に故障滯を生じ易く兎角意に任せぬ象があり又旅立の故障病難思掛けぬ損害災難分外の事を企てゝ意を要す。

▽四綠木星の人　衰運の月で物事に故障澁滯を生じ易く尚文書の解決目上の引立家庭身内の悅び事金運望み事の成就等を得る象があるが目下の事で縺れを生ずるとか慢心して調子に乘過ぎたり我儘に流れて運氣を破る憂ひがあるから注意が肝要です

▽五黃土星の人　吉運の月で業務上一身上の開運辛勞の解決目上の引立家庭身内の悅び事金運望み事の成就等を得る象があるが目下の事で縺れを生ずるとか慢心して調子に乘過ぎたり我儘に流れて運氣を破る憂ひがあるから注意が肝要です

▽六白金星の人　大體中運の月ですから分外に走らず堅實に努力すれば諸事相當功を擧げ得るものですが月半過は稍衰運に傾き物事に故障齟齬を生じ易く尚文書契約上の間違ひ危介擧病難身上の動搖迷ひ事等を生ず憂があるから注意を要す

▽七赤金星の人　衰運の月です此方針を守れば月半過で諸事意に任せず從つて焦燥がちになる象があるが勞して功の擧らぬ月ですから萬事控目を守ることが大切等に注意を要します。

▽八白土星の人　吉運に入る月で諸事順調の運びを示して來るものですが月半頃迄は未だ充分衰運を脫しない傾きがあるから急進妄動から注意を要す。

▽九紫火星の人　月初めは吉運に見えますが實際は衰運に入る月で物事に故障波瀾を生じ易い象があるから萬事現狀を守り慎重に進む

延期のお詫び

本號には是非共掲載する都合になつて居つた平●●●

石城郡東部に於ける 金融界の權威 四倉銀行

德望の頭取と手腕の專務

隆々たる業績は信用を 雄辯に物語るものなり

石城郡四倉町なる四倉銀行は德望ある吉田頭取、手腕力量の戸田專務に行員一同協力和合して常に行務の刷新と業績の堅實を主眼に努力し如何にせば株主への配當率を多くなし得るかと云ふ事を考ふると共に如何にせば預金を安全に運用し得べきかと云ふ事をも考慮して經營の任に當り居るより日に〳〵隆盛の加り來つて今回の社屋の新築落成となり其の建造物の如き平町江工業會社の營利超越的堀手腕を見せて現代地方建築界に新範を示したるかの觀あり然して同行が取引關係者への挨拶は次の如し

新築落成に就て

當行は大正九年の創立に懸り當時に於ける地方は四倉町を中心とし各種事業勃興し磐城セメント、八茎礦山、大野銅山、磐越炭礦、四倉電氣、磐城製氷等盛んに其經營を開始し濱方漁業界又旺盛を極め地方開發の機運熟したりと雖も未だ金融機關の設備なく事業界不便不利忍ぶ能はざるものあり爰に於て發起者の蹶起を見當行の創設認可を得て開業したるものなり其後四倉信託株式會社の合併を行ひて增資を計り爾來星霜七年其間經濟界は幾變轉を經たるも年を追て業務の發達を見るに從ひ營業所の狹隘を感ずると同時に銀行業本來の責任上保管金品保護の任を果さんには堅牢にして不燃對し新潟は四六、四本縣が字多川久慈川仁井田川

質の營造物を要する事を痛感し昨年六月工を起し仝年十二月竣工爰に所期の目的を達したる所以なり是要するに取引各位及江湖諸彦の賜と深く感謝して止まざる處なり將來倍蓰努力堅實親切を旨とし業務の發展を期し地方產業の爲め一臂の力を效さんとす請ふ幸に倍蓰の御後援を賜らん事を切に希望して止まざる所以なり。

營業成績一覽表

期別	資本金	諸準備金	諸預り金	諸貸出金	配當率
第一期	五〇〇、〇〇〇	〇	一九、四七七	二五、四三五	八分
第二期	五〇〇、〇〇〇	一、七五〇	一九、〇二一	二七、七四〇	八分
第三期	五〇〇、〇〇〇	一、七五〇	一四、七六一	二〇三、八〇〇	八分
第四期	五〇〇、〇〇〇	三、五〇〇	一八、七四〇	二〇三、四七四	八分
第五期	五〇〇、〇〇〇	四、七五〇	二九、四七四	二七七、三〇三	八分
第六期	五〇〇、〇〇〇	八、〇五〇	四〇、〇五七	三四一、九八六	八分
第七期	五〇〇、〇〇〇	一二、五〇〇	四五、九一〇	三九八、八六九	八分
第八期	五〇〇、〇〇〇	一四、五〇〇	五四、〇〇七	四〇〇、〇五七	八分
第九期	五〇〇、〇〇〇	一六、五〇〇	五九、八〇九	四四七、一四〇	七分五厘
第十期	五〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	六四、九一一	四五五、九二九	七分五厘
第十一期	五〇〇、〇〇〇	二四、〇〇〇	七〇、九六二	四七七、八六九	七分五厘
第十二期	五〇〇、〇〇〇	二七、〇〇〇	七五、九二一	四九九、三一二	七分五厘
第十三期	五〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	八二、九六六	五〇〇、二七八	七分五厘
第十四期	五〇〇、〇〇〇	三三、〇〇〇	八九、九二五	五二〇、九九五	七分五厘

東北電力界の現勢と 本縣各川の發電馬力

本縣現在に於ける電力界は電氣事業者の數では一般供給と鐵道經營が一四九で官廳用と自家用は五六四也供給と鐵道の方で本縣の三八八で消費するものではなく約一〇四一〇〇〇キロワットは本縣及び新潟方面から隣縣内の水利馬力は我が國内で優秀な地位を占めて居り殊に新潟は我國で第三位本縣は第五位になつてゐるこの發電力全部を管内地方へ供給するのであるから管内で消費する電力は二四四キロワット位であると云ふが次に管内の需要状況を見ると管内の總戸數一三二五四九戸のうち電燈の點火してゐる所が其九割七分の一〇一五五四八戸でこの電燈の數は二八三八四一燈一分となつてゐるが全國平均の百人當り燈數を見ると四一燈四分であるのに比べると一戸當り約二五燈の電燈を有して居る目下營業してゐるものは百ヶ所で十五萬一千百二十八キロワットでこの發電營業中にあるものと各水系に見れば地點の最も多きものは阿武隈川で次は阿賀川であるが發電力に於ては阿賀川が最高で阿武隈川が之に次でゐるが現在發電所のある阿川は十ヶ流で即ち

百馬力以上

河川名	地點	理論馬力	發電力
阿武隈川	三	三、三三三	三、〇〇〇
阿賀川	八	八、九五四	一〇、九〇〇
叉川	二	二、四四〇	四、八〇〇
叉川	一	九、九七七	一〇、八〇〇
木戸川	一	四、五七七	二、五〇〇
鮫川	二	一、一二〇	一、一〇〇
鮫川	一	一、一二〇	一、一〇〇
久慈川	二	一、四〇〇	一、一〇〇
宇田川	一	一、一二〇	一、一〇〇
仁井田川	一	一、一二〇	一、一〇〇

▲百馬力未滿（以下の分）

河川名	地點	理論馬力	發電力
阿武隈川	三	三、三三三	三、〇〇〇
阿賀川	八	八、九五四	一〇、九〇〇
叉川	二	二、四四〇	四、八〇〇
叉川	一	九、九七七	一〇、八〇〇
木戸川	一	四、五七七	二、五〇〇
鮫川	二	一、一二〇	一、一〇〇
鮫川	一	一、一二〇	一、一〇〇
久慈川	二	一、四〇〇	一、一〇〇
宇田川	一	一、一二〇	一、一〇〇
仁井田川	一	一、一二〇	一、一〇〇
新田川	一	一、一二〇	一、一〇〇
久慈川	一	一、一二〇	一、一〇〇
仁井田川	一	一、一二〇	一、一〇〇

本縣町村の 教育費負擔

本縣の町村負擔教育費の概況を見るに大正十四年度は總額七百五十萬四千八十八圓で一戸當り三十一圓四十一錢二厘人口一人當り五圓二十一錢八厘であつたが同十五年（昭和元年）には國庫補助增額に依り總額百六十八萬八千八百五十圓となり一戸當り九圓四十六錢八厘一人當り一圓三十錢七厘となつた即ち十五年度を十四年度に比べると一戸當り約三分の一倍一人當りで約四分の一を輕減されてゐる而して十四年度の七百五十萬四千百八十八圓を學校別に觀察すると最も多いのは小學校費で七割二分六厘を占め中學校費の七分一厘實業費の四分九厘と云ふ割合となり又生徒一人當り費額は次の如くである。

	費額
小學校	三、〇一五
中學校	八、六三五
女學校	一五、八三一
師範學校	一五、三六五
實業學校	七、五〇八
實業補習校	七、五〇八

臺灣本縣人會

臺灣電力株式會社社長臺灣福島縣人會長醫學博士高木友技（磐城泉）總督府財務局長富田松彦（福島市）臺北州廳警務部長東間善庫（本宮）臺南州廳内務部長大竹貞（會津）總督府警務局理蕃課長田中秀造（相馬）總督府專賣局臺北工場長小松重一（本宮）臺灣製腦株式會社調査課長白石要人（東白河）新馬新報主筆橋本白水（相馬）郡市別臺北市德川秘書課長西田力松（耶麻）臺北州地方課双葉村田義男（相馬）同大關相善雄（若松）臺北州衛生課警部加藤卯吉（郡山）警務局屬遠藤喜三郎（會津）殖產局屬荒卯三郎（相馬）拓殖土地株式會社主任福岩忠雄（相馬）臺北鐵道會社南會主任金谷雄貫（双葉）合資會社北會津會社山本臺灣支店長璧谷悟郎（田村）

縣下養兎事業

農家の好副業たる養兎事業に就て本縣當局に於てもそれ〴〵奬勵に努めてゐるのであるが遂年發展に向ひつつあるが縣統計課の調査した昨年末現在飼養戸數三萬二千七百八十九戸十二萬八千百五十三頭の多きに上り此額十萬四千八百二十六圓であつて將來益々有望の副業として囑望されて居るそれを各郡市別にすれば左の如くである。

郡市別	飼養戸數	頭數
福島	一七、五二一	八、七〇〇
伊達	四、〇〇四	四、四五五
信夫	二、二〇〇	二、九三〇
安達	五、八七〇	六、八四三
安積	四、二〇六	二、九二六
岩瀬	一、四九九	一、四三三
田村	一、九三三	一、八二三
石川	一、八二一	一、四三三
東白河	一、一九六	二、九九
西白河	二、〇五五	二、三三三
河沼	九、〇〇	一、七二七
大沼	六、六六	四、一四〇
耶麻	一、三九九	二、九六六
會津	一、四〇三	二、九二三
南會津	一、九二一	二、九九
北會津	一、一九二	二、三三三
相馬	二、一〇〇	三、三六六
宇多	一、六二三	一、四三三
仁井田	一、一六六	一、四三三
久慈	一、一六八	一、九九二
合計	一、三九八	二、九九二

炭山役員及從業者諸君に告ぐ（江尻中）

勞資協調は利益の分配をより以上公平にし勞働者の待遇の改善地位の向上は勿論國家として社會政策の施設を實行し勞働者の幸福を增し貧富の懸隔を緩和することは必要であるが斯くの如く物質的方面のみを見て精神的方面を無視しては決して眞の勞資協調が出來るものでは無いと思ふのである況んや西洋と我國とは社會の思想並に文明の基調に各々異つた特色を持つてゐるのである此の特色を閑却しては社會問題の解決は出來ぬのである即ち西洋の社會は個人主義の上に築かれそれが權利思想に依て維持され其文明と云ふものは物質慾に根本をなして王義科學萬能的思想の下に發達したものであるがこれに反して東洋の文明は家族制度の上に築かれて服從觀念が根本をなして其結果として西洋人は自然理智的であり打算的であるのに東洋人は情味的であり機械的であるのに東洋人は道德的であり人格的であるこの長い歷史に依て慣習つけられた民族的特色の存在を否定することは出來ぬのである。

元來權利思想は鬪爭氣慨我から發達し來たものであつて鬪爭となり利の主張がやかて鬪爭となるのである然し我が國の特色たる服從は美德である服從と云へば何んだか屈從を意味し壓迫を感じ人格や傷けられるやうに思ふが我國の服從は君父の恩に感じて自己の本分をつくすと云ふ意味であつてそこに些しの壓制とか苦痛とかを感ずる筈はない寧ろ衷心の滿足を以て自ら進んで自己の本分をつくすのであつて所謂感恩報謝の念より出づる人格的精神的のものである近年我國民が西洋文明に感染して極端なる個人主義に偏し物質的思想が浸入し來て人心は惡化する一方であることは頗る遺憾である予は勞資協調の眞諦は我が國固有の美風たる人格的服從觀念によらなければ駄目だと思ふ即ち資本家は勞働者があるからの資本家であつて資本家たる地位と名譽とは一に勞働者の贈であると云ふ其恩義に感じやみがたき熱情に燃ゆるあらば勞働者の側でも亦資本家の熱情と其恩義に感ぜぬ理由はない斯くしてお互に報謝的にやつてそこに初めて眞の協調が出來るのである勞資が圓滿に協調すれば其事業の能率も增進し延いては國家產業も亦た自然に發達するのである勞資階級が反目すれば當に相互の不利益たるのみならず國家產業發達を害し赤色の魔の手が浸入し來るのである近時我が國の思想界の傾向は其方面に轉換して左右兩傾共極端にはしり種々の妄動を致してゐる單に勞働者と資本家が利益の分配のみの爭とばかり見ては大なる間違が生じ國家の興亡にも關係することを忘れてはならぬ炭山の役員及從業者諸君は以上の所說を吟味して資勞の協調をはかり自己の利益を增進し事業の發達を期せられんことを囑むものである。（完）

徒弟入用

（年齡十六歲より十六歲位の者）

美髮所 アツマ

將來最も有望なる婦人文化職業我身の安定を欲する婦人は御來談を乞ふ

平町撞槌小路一

電話二三七番 ▼配達迅速

店炭商 石炭 部 阿ノ

一品質ノ一定セル事
二正貫取引ノタメ目方ノ正確ナル事
三大量購入ノ結果買入値段ノ安キ事

價段 安値

一日ノ採炭三百五十車ノ大量生產

ノ良質 品優

常磐第一ノ優良炭田ヨル產出スル

特長

ノ賣社會株式會社販株式會社炭礦手城磐一

◎平驛前 ツ 阿部石炭商店

諸形 文字 花鳥 山水 結晶

巧妙なる意匠嶄新なる技工に依つて硝子加工開店致しました多少に拘らず御用命致します特に圖案の程御願致します特に「モデル」とし御希望の方は圖案を御持參の程御願ひて圖案を御持參の程御願ひ致します

家具類一式 硝子加工

商店

磐城平町紺屋町五番地（吉田眼科醫院向ひ）

本社の特色

株式組織にして相互會社を兼有する特長あり

横濱生命保險株式會社

平代理店主 中野甲藏

契約者には初年度より利益の配當をなす

大正十四年第三種郵便物認可

本紙の主義……本紙は本社の私有にあらず社會共有の公的言論機關也常に紙面を開放して何人の爲めにも

本紙の信條……其利用を快諾し特に主として實業界の機關となり努めて實益を主眼とす

本紙は絕對不可侵の權威を以て論議公正にして愚劣無價値の記事を採らず磐城地方唯一の實業機關たるの本領を發揮す之本紙の使命也

毎月（二回）十日十五日　發行兼編輯人 大和田與平　印刷人 同所　發行所 磐城之實業社　電話五二二番

磐城之實業

生命保險の必要

保險料年額二百圓までは所得稅法に依り免稅の特典があります